

多摩川まるごと遊び塾 水辺はぼくらのワンダーランド

日程 9月2日(土)
 ※小雨決行
 ※悪天候の場合は10日(日)に順延
会場 市民球技場近くの川原(市民球技場管理棟前広場集合)
対象 市内在住の小学生 ※保護者同伴
内容・時間
 ①多摩川まるごと遊び塾 午前10時～午後1時(9時25分受付開始)：ライフジャケット等を用いた安全教室(保護者の分も用意します) ▼水棲生物の捕獲と観察(ガサガサ)

替え、水に入って濡れてもよい服(靴は履き替えの分も含め、足をしっかりと保護するもの ※大人を含めてサンダルは不可)、弁当(必要な方)、水筒、魚釣り網・飼育ケース・ライフジャケット(お持ちの方は名入れして持参)
 ※日差しが強い時期です。熱中症対策をお願いします。
講師 ガサガサ水辺の移動水族館館長 山崎充哲氏
定員 ①先着40組(予約制) ②自由参加
費用 子ども1人300円 ※②のみの参加者は無料
持ち物 帽子、タオル、着替え、水筒、魚釣り網、飼育ケース、ライフジャケット(お持ちの方は名入れして持参)
 ※「みどり東京・温暖化防止プロジェクト」の助成事業



第三回 青梅妖怪伝説 夏の夜は青梅宿 怖くて楽しい・おぼけの夜市

青梅宿の住吉神社境内とその周辺でちよつと怖くて楽しい「おぼけの夜市」を開催します!
 境内のステージでは妖怪たちが妖しい踊りを披露し、おぼけチンドンが街を闊歩します。また、会場にはおぼけのコスプレを楽しめるブースもあります。
 その他にも、「おぼけの夜市」での買い物や「おぼけのレストラン、うらめし屋」、「冥土カフェ」、「ピアガーデン」等で喉を潤すこともできます。



ともできます。
 おぼけ提灯や行灯をたどって観にきてください。怖くて楽しい青梅宿の散歩はいかかでしょうか?
日程 8月19日(土)、20日(日) 午後3時～8時
 ※荒天中止
会場 住吉神社境内とその周辺
特典 浴衣のお客様には、ステキなブレゼントがあります!
その他の主なイベント
 ●雪おんなの部屋
 ●おぼけ夜市「各所に手づくり品の夜市が出現」
 ●古着「ようかい屋」



その他 同フォーラムでは、年間行事にご協力いただける大人の方を募集しています。詳細は、電話 ☎090・1403・5190で同フォーラム 丸山へ申し込み 8月22日までに電話または直接環境政策課管理係(市役所3階)へ
 ※②のみの参加者は直接会場へ
 ※土・日曜日を除く



郷土博物館「新収蔵品展2017」

市民の皆さんからご寄贈いただいた貴重な資料を展示・紹介する「新収蔵品展2017」を開催します。
 収蔵した資料は、今後大切に保管し、展示等に活用していきます。
日程 8月19日(土)～10月9日(祝)
休館日 月曜日
 ※祝日の場合は開館し、その翌平日に休館
会場 郷土博物館1階展示室
内容 平成28年度に収蔵した資料などの展示
入場無料
直接会場へ
問い合わせ 郷土博物館 ☎23-6859



板碑(青石塔婆)

作業療法学生によるいきいき健康講座

ゲームや体操を通して、健康に関する知識を楽しく学びます。
 講座は各回内容が異なるので、各回ごとの申し込みとなります。1回のみ参加も、複数回の参加もできます。
日程・内容 下表のとおり
時間 午後1時30分～3時
会場 市役所2階会議室

日程(全5回)	内容
9月 2日(土)	みんなで対戦! 棒ゲーム! (体力づくり)
9月16日(土)	見て、聞いて、動いて、スッキリ! (頭の体操)
9月30日(土)	元気を作る歌クイズと歌体操! (認知症予防)
10月 7日(土)	もしもに備えよう! 暮らしの中に運動を! (体力づくり)
10月14日(土)	私とみんなの“いきがい”を再確認! (生活の振り返り)

青梅児童合唱団・青梅市民合唱団 いきいのおんがくかい&団員募集!

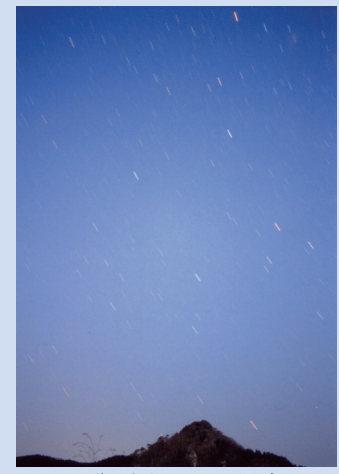
いきいのおんがくかい
 ●青梅市民合唱団
 日時 8月21日(月) 午後7時～9時
 会場 姉妹都市コーナー(市役所2階)
 入場無料 直接会場へ
 問い合わせ 社会教育課
 ●青梅児童合唱団
 日時 8月22日(火) 午後5時15分～7時45分
 会場 市役所2階会議室
 入場無料 直接会場へ
 問い合わせ 社会教育課

団員募集
 ●青梅市青少年吹奏楽団
 対象 中学生以上(未成年者は保護者の同意が必要)
 練習日時 個人練習：金曜日 午後5時～9時30分
 分▽合奏：日曜日 午前9時～正午
 詳細 川谷 ☎090・2693・7022
 ★いずれも 会場 釜の淵市民館



「星空」という自然環境

夏は七夕の季節でもあり、夕涼みを兼ねて夜空を見上げる機会も増えそうです。普通、七夕の星というと、彦星(牽牛、わし座のアルファ星アルファ)と織姫星(織女、こと座のアルファ星ベガ)の2星を言います。
 この二つの星は1等星よりも明るいので、街中で夜空を見上げて、すぐにそれと分かります。気になるのは、この二つの星の間を流れる淡い天の河(銀河)が見えるかどうかです。
 現在、私の自宅(新町地区)では、天の河はまじく見られません。周辺の街灯や看板の明かりが、淡い星の光をかき消してしまっています。東の低空から広がる都心方面の明かりも、大きな障害になります。
 しかし、今から30年ほど前までは、自宅で天の河を見ることは難しいことではなく、淡い流れを追いかけることができました。暗かった夜空が、増加する人工光により、少しずつ明るくなってしまっています。
 まったのです。こうした変化は、青梅市内のあちこちで進行しているはずですが、そこにも人の営みが反映されます。御岳山は、かつて高尾山と並んで、都心に近い星見スポットとして、人氣がありました。私も通った経験があります。しかし、どちらも現在はあまり注目されません。市街地ほどではないにしても、星は見づらくなりました。頭上に広がる星空は、身近な自然の一つですが、そこにも人の営みが反映されます。天の河や6等星までの星はつきりと見える暗い星空は、七夕を楽しむために、今や貴重な自然環境になりつつあります。
問い合わせ 郷土博物館 ☎23・6859



△御岳山からの星空